

第3回市民ファンド研究会のお知らせ

広域を対象とする基金の活動から 市民ファンドの継続性・発展性を考える

日時：2014年9月11日（木）13：00～16：00 場所：日本NPOセンター会議室

1. 市民ファンド研究会の目的

10年以上前から、資金面等で「民」が「民」を支援する市民主体の仕組みが全国に広がっています。呼称や態様はいろいろありますが、私たちはこれを「市民ファンド」と呼んでいます。

市民ファンドは、規模は小さくとも、身近に存在することで、NPO活動の資金源を多様化させ、市民社会の創造の推進力となることが期待されています。しかし、現状を見ると、その認知度はまだまだ低く、多くは思うように寄付が集まっていない状況です。

そこで、このような状況を打開するため、市民ファンド関係者及び市民ファンドに関心のある人たちが集い、特徴的な市民ファンドの事例について、設立時の取り組み、寄付集め、助成団体の選定・評価、支援者参加型の運営などの視点から意見交換を行い、市民ファンドの経営力のアップと市民ファンド関係者間のネットワークづくりを行い、日本社会に普及・定着していくことを願って、2014年は年4回、テーマを設定し、市民ファンド研究会を開催することにしました。

2. 研究会の主催・共催・協力

主催：市民ファンド推進連絡会 共催：NPO法人市民社会創造ファンド
協力：認定NPO法人まちぼっと

3. 第3回研究会のテーマ

「広域を対象とする基金の活動から市民ファンドの継続性・発展性を考える」

4. 第3回研究会の論点

現在の日本における市民ファンドは、ほとんどが寄付を財源に助成事業を組み立てている。寄付を受ける方法は様々であるが、決まった先から継続的に寄付を受けるスキームを持つ団体は限られ、多くは何らかの工夫を加えながら多様なかたちで寄付を呼び掛けている。

そのような状況から、広域を対象に継続性を持って活動できる市民ファンドはまだ少なく、継続性と発展性を進めるノウハウもまだない。第3回研究会では、広域を対象に一定期間以上に渡って活動している2つの基金をゲストにお迎えして、活動初期から現在までどのように継続的に事業を行ってきたのか、事業拡大/変革のポイントは何かだったのか、将来の事業をどう見ているのかについてうかがいたい。

それらを通して、今後の日本社会の中でどのようにすれば、既存のまだ小さい市民ファンドが継続的に活動を行うことが可能なのか、また将来の発展した事業をどのようにイメージできるのかについて考えたい。

5. 日時・会場

日時： 2014年9月11日（木）13時～16時

会場： 日本NPOセンター会議室（東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル地下1階）

※アクセス http://www.jnpoc.ne.jp/?page_id=629

6. 当日の流れ

13:00	開 会
13:00～13:05	研究会の進め方の説明 進 行 奥田裕之（認定NPO法人まちぼっと 事務局長）
13:05～13:35	事例報告 被災障害者支援 ゆめ風基金 報 告 者 八幡隆司（NPO法人ゆめ風基金 理事）
13:35～14:05	事例報告 ビッグイシュー基金 報 告 者 佐野章二（NPO法人ビッグイシュー基金 理事長）
14:05～14:15	休 憩
14:15～15:40	質疑・意見交換
15:40～16:00	まとめ
16:00	閉 会

※16:15～ 交流会（会費制）

7. 参加費

1,000円（定員は先着30名まで。定員になり次第締め切り）

8. 旅費の支援

市民ファンド関係者で遠方から参加される方については、市民社会創造ファンドの研修参加旅費助成制度で都市間往復旅費（最寄りの駅または空港から、東京駅または羽田空港までの運賃）から1万円を差し引いた額の助成があります。希望される方は担当：山田までTEL：03-5623-5055 または電子メール：eyamada@civiltfund.orgにてご相談ください。

9. 申し込み先・問い合わせ先

申し込みは、所属名とお名前をお書き添えの上、以下の宛先に電子メールでお送りください。

NPO法人市民社会創造ファンド 担当：武藤・坂本

TEL：03-5623-5055 / 電子メール：rmutoh@civiltfund.org

<市民ファンド／市民ファンド推進連絡会とは>

市民ファンドとは新しい価値の創造や社会課題の解決のため、市民からの寄付を中心に、市民の活動に助成する、市民が主体的に設置・運営する仕組みと市民ファンド推進連絡会では定義しています。

市民ファンド推進連絡会は全国の市民ファンド及び中間支援組織の有志により、日本社会に市民ファンドを発展・普及させていくことを目的に2011年7月に設立しました。事務局はNPO法人市民社会創造ファンドと認定NPO法人神奈川子ども未来ファンドに設置しています。